

日吉図書館改修工事2015報告

－1階新聞・雑誌コーナーと3階北閲覧室－

さとうさわこ
佐藤佐和子

(日吉メディアセンター)

1 はじめに

このたび日吉図書館では、1階新聞・雑誌コーナー（旧新聞閲覧コーナー）および3階北閲覧室（旧雑誌室）の改修工事を行った。工事時期は、休館しているインベントリ期間のうちの1週間（2015年2月12日～同19日）とした。本改修工事の目的、工事による効果は次のとおりである。

(1) 工事の目的

最新の雑誌が館内の1階と3階に分散配置されており、利用者にとっても資料を管理する図書館職員にとっても不便な現状があり、閲覧スペースとして十分な広さが活用されていない1階に雑誌をまとめて配置する。

また、多くの学生が求めている「より落ち着いた自習空間」を生み出すため、雑誌を1階にまとめた後の3階北閲覧室を閲覧スペースに転用する。

(2) 工事による効果

学習に役立つ雑誌が、より目につきやすい1階という場所にまとめて配置されることで利用促進が期待できるほか、学生に人気のある3階をさらに静かで快適な学習スペースとして拡張することができる。また、図書館職員としては、資料をまとめることで配架や製本といった資料管理の業務量を軽減することができる。

2 ボードアンケートの実施

2014年度の予算で今回の工事を行うそもそものきっかけとなったのが、2013年12月20日～同27日、2014年1月6日～26日、2014年4月1日～5月9日の3期合計56日の期間で実施した、「日吉図書館ボードアンケート」である。これは、「日吉図書館の『1階』にあってほしいものは何ですか？」と「日吉図書館の『1階』にどんな席があるといいですか？」という設問を掲示したホワイトボードを図書館1階に設置し、前者は自由に記入する形式、後者は「一

人静かに集中する席」「友人同士で静かに相談しながら勉強する席」「グループで学習する席」のうちから選択する形式での回答を呼び掛けたものである。アンケート結果の詳細については割愛するが、「図書館を静かな学習の場として使いたい」「資料を閲覧する家具（ソファ、ベンチ）が欲しい」といった声を中心に、実現可能性の高いものから実施しようという運びとなり、今回の工事に至ったというのがおおまかな経緯である。

3 工事1階

(1) 新聞

もともと1階旧新聞閲覧コーナーには、机に平置きしている当日分（8紙）、新聞掛けに吊っている当日分（25紙）、畳んで書架に置いているバックナンバー当月分（22紙）、2001年以降の新聞縮刷版（4紙）が配架されていた。平置きと新聞掛け分はそのまま配架場所を1階の中で移動することにし、当月分のバックナンバーは2台の地図台に移設、縮刷版は全て地下書庫へ移動することにした。これに伴い、移動が必要となった資料（地図、百科事典）は1階クイックレファレンスコーナーや地下書庫に移動、資料の移動後空になった書架（庄内展示、百科事典、ゼンリン地図棚）はそれぞれ移設や廃棄を行った。

また、新聞書架には、どの新聞がどこに配架されているのか一目で分かるようにするための掲示を付けるなど工夫をした。

(2) 雑誌

和洋合わせて約320タイトルの雑誌を1階に配架するため、和雑誌用に新しくピジョンボックス型の書架（288タイトル配架可能、高さ150cm）を購入した。なお、3階語学学習コーナーに配架していた洋雑誌は、2014年10月6日～12月12日に行った利用頻度調査をもとに、28タイトルから14タイトルを選出し、新たに趣味や教養、スポーツの分野の和雑誌

を加えることにした。

和雑誌の配架については、利用者にとってよりわかりやすく興味を引き出しやすい配架になるよう、順番を工夫した。3階北閲覧室に配架されていた時は、和雑誌、洋雑誌ともにタイトルのアルファベット順であったが、工事後は、「総合」「経済」「法律」「社会科学（その他）」「哲学・歴史」「文学」「芸術」「自然科学」「工学」「言語」「スポーツ」「慶應」の12分野に分類し、それぞれの分類の中でタイトルのアルファベット順になるよう配架した。

また、書架にもそれぞれの分野名を掲示するなど、利用者にとってわかりやすくなるよう心掛けた。

(3) 家具

新聞・雑誌コーナーを新聞エリア、雑誌エリアに分けた上で、それぞれゆったりと新聞や雑誌を広げて読むことができるスペースを確保しつつ、個人で学習するための閲覧席として使えるよう工夫した。

当日分の新聞が置いてあり、新聞を広げて読むことができる大きな閲覧机（写真1）はそのまま使うこととし、そのほかの閲覧机には新たにアクリル板衝立を取り付けることで、個人で静かに学習できる場所として区別することができた。（写真2）



写真1 工事前：旧1階新聞閲覧コーナー



写真2 工事後：新聞エリアの閲覧机（アクリル衝立）

エリアの中央には新しく木製のベンチ2脚を配置することで新聞エリアと雑誌エリアの区別が明確になるようにし、両方のエリアから座ることができるよう、背もたれのない形状のものにした。（写真3）



写真3 工事後：1階ピジョンボックスと新しいベンチ

1階の家具を選ぶ際は、このフロアが賑やかになりがちであることに加え、休憩のために使ってしまう（眠ってしまう）利用者が散見されることを考慮し、従来通り見通しがよく明るい1階の雰囲気を保ちつつ、あくまで資料の閲覧や学習のためにすごしやすいかどうか（静かだけど眠くならない）という点をポイントに検討した。

4 工事3階

(1) 雑誌

雑誌を完全に北閲覧室内から移動してしまうため、北閲覧室の扉には外と中それぞれから見えるように、「雑誌は1階へ移動しました」という掲示をした。当初は雑誌書架がなくなったことに驚いていた利用者も見られたが、大きな混乱はなかった。

(2) 家具

静かに個別学習する利用者が多い3階北閲覧室の特長を生かしつつ、さらに持込PCを利用したり、それぞれ静かに学習したりことができる、落ち着いたカフェのような雰囲気のエリアにするため、家具の色調に特にこだわった。新しく張り替えたソファ椅子（1階ラウンジ、新着図書コーナー前などにあったもの）、絨毯の色は暖色の茶系にまとめ、丸テーブルは明るい雰囲気になるよう天板を周りの机と同じ白に統一した。

もともとあった、衝立のある4人用円形机（写真4）はそのまま残し、雑誌架のあったスペースに新

しく張り替えたソファとテーブルを配置した。(写真5, 6) ひとりひとりソファに腰かけ、ゆったりと丸テーブルでPCを利用することができるように空間に余裕を持たせるとともに、各テーブルに電源を繋いだ。

また、通路の壁に2枚の絵画 (Henri Matisse 「オリーブ林の散歩 (Promenade among the olive trees)」とMark Rothko 「ブルーとグレー (Blue and gray)」) をかけることで、落ち着いた雰囲気を出すことができた。(写真7)



写真7 工事後：絵画



写真4 工事前：3階北閲覧室



写真5 工事後：3階北閲覧室



写真6 工事後：3階北閲覧室 (丸テーブル)

5 まとめ

今回の改修工事を通じて、利用者（特に学生）は空間に利用行動が左右されやすいことがわかった。

工事後の様子については、感想や意見を求める調査を行っていないためはっきりとした動向は得られていないが、こちらが意図した様に今回工事改修を行った各スペースを使っているように感じる。例えば、1階雑誌エリアの新しく衝立を付けた閲覧席で静かに学習する学生が増え、新聞閲覧机が新聞エリアの中央付近に移動したことで、新聞を読む学生を多くみかけるようになったことなどが挙げられる。

また、日吉メディアセンター公式Twitterで、工事終了直後に写真入りの報告ツイートを発信したところ、学生の春休み期間中だったにも関わらず反応が大きく、改修でどんなふうに図書館が変わるのか興味を持っている人が多い印象を受けた。

2015年に日吉図書館は30歳を迎え、ところどころ修理が必要な部分も見えてきている。古いから修理するというだけでなく、これからも、利用者にとって過ごしやすい空間であるよう改善を続けていきたいと思う。